

電制コムテック広報紙

とらい

令和6年 年始号

発行  
電制コムテック株式会社  
広報室  
〒067-0051  
江別市工業町8番地の13  
TEL(011)380-2101  
FAX(011)380-2103  
<https://www.dencom.co.jp>



# DENCOM

## 年頭のご挨拶

代表取締役 田上 寛



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新年にあたり、お取引いただいている皆様そして社員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

道内では昨年、経済の活性化に繋がる大きなニュース「ラピダスの工

場建設決定」がありました。この投資総額が5兆円規模で、事業化は2025年に試作ライン稼働、2027年には量産化開始という最速計画で進めるようですが、これを機に今後の北海道への注目が「食」だけでなく、最先端半導体生産拠点として、またエレクトロニクス事業分野の拠点として世界から注目されるようになれば幸いです。

2024年をスタートするにあたり、弊社社員の皆様には「発想力と実現力」についてお話いたします。皆様よくご存じの半導体の集積率推移を予測した「ムーアの法則」、これに同期するように社会は変化してきましたが、そのムーアの法則も終焉

期を迎え、今や技術革新は目を見張る勢いとなり、社会の変化も一段と加速しています。急変する社会は、我々ものづくり企業の事業のあり方にも影響を与え、革新的製品の創出スピードをさらに上げる必要が出てまいりました。そのスピードに必要なのが、「発想力と実現力」です。

「発想力」を鍛えるためには、一人でじっくり考えるだけでなく、様々な情報入手する努力も必要であり、外出して環境の変化に触れ、人と会う機会を増やすなども有効です。メール活用が進みSNSが発達した現代社会では、人に会わずに、これらのツール活用で意思疎通を図ることは可能ですが、効率的である

反面、対面での会話や外環境での気付きの機会は失われています。非効率で無駄と思える時間も大切ということかもしれません。

そしてもう一つの欠かせない力が、発想をタイムリーに具現化するための「実現力」であり、この“タイムリーに具現化する”ができて初めて「実現力」があると云えます。

さあ、今年は社員全員が「発想力」そして「実現力」を磨く努力の年としましょう。

最後になりますが、お取引いただいている皆様はじめ関係各所の皆様には本年もご指導またご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

### ■ 常務取締役 就任のご挨拶

昨年9月1日より常務取締役に就任いたしました櫻元です。このような大役を仰せつかり大変身の引き締まる思いではありますが、これまで以上に社業の発展ならびに、皆様のご期待にお応えできるよう、業務に邁進してまいります。

さて、近い将来、仕事の約半分がAIやロボットに取って代わられるかもしれないと言われています。しかし、AIには負けない人間ならではの論理的思考と感性を磨くことで、お客様との対話により潜在的なニーズを引き出すことができ、タイ

ムリーな製品・サービスを提供し続けていくことができると考えております。そのためにも、どうか引き続き皆様方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



常務取締役 櫻元 正

## 特集

## 新技術を活用した DENCOR 製品の紹介

## 非接触式油検出センサー エスリオ 高感度型 H-1 モデル 販売開始迫る!

弊社は、十数年前から青色光の波長帯研究を進めており、その研究成果から蛍光スペクトルを利用した非接触式油検出センサー「エスリオ」を商品化し、2011年より販売を始めておりました。現在は「エスリオ1」の後継機種として「エスリオ 高感度型 H-1 モデル（以下、H-1 モ



【エスリオ 高感度型 H-1 モデル】

デル」の開発を進めておりましたが、この開発も終了し販売準備が整いましたので、ご紹介いたします。

新商品「H-1 モデル」の特徴は、油判定の確度の高さです。従来型である「エスリオ1」の利用環境は基本的に屋内あるいは屋内同等環境を想定して開発しておりましたが、屋外環境のような自然界のあらゆるものが舞い込む場所でご利用された場合、状況によっては想定外の油の蛍光スペクトルに近い値を示すカメシの死骸や枯葉などが風により監視箇所に吹き込むこともあり、それらを油判定しないよう微調整あるいは

フィルター設置などが必要でした。「H-1 モデル」では、これらを踏まえ、油判定の確度向上を行いました。検知性能以外には「エスリオ1」の仕様とは大きくは変更していませんが、壁や盤内に設置できる構造のモニター部には油検知の表示のほかに接点出力もつけていますので、更に遠くでの遠隔監視も可能です。

弊社では、絶縁油やタービン油以外の油種にも適用できる油センサー開発にも取り組んでおります。今後多くの皆様の貴重なご意見をいただきながら新技術商品の開発に努めてまいります。

## オールインワン・スマートポールカメラ開発中

カメラ電源は360度のソーラパネルで発電し蓄電池に充電するため外部電源不要、工事不要のオールインワンスマートポールカメラを3種類開発いたしました。カメラの設置は単管パイプまたは標識ポールに差込むだけで簡単です。

- ① S-1 型はLTE ルータ内蔵でネットに接続しカメラ素子4台で360度映像、最大64MPの高画質映像。
- ② S-2 型はLTE ルータ内蔵でパンチルトズームで最大24MP画質。
- ③ S-3 型は全体に小型化し、Wi-Fi機能でネットに接続し最大64MPの固定高画質映像を実現。

昨年ビジネス EXPO に展示し PC やスマホで簡単設定でき、工事の仮設や広範囲の駐車場、大型工場の後付設置と用途は無限でSDGsなカメラと大変好評を得ました。今後は発売時期や性能向上、検証を進めてまいります。



【左から S-1 型、S-2 型、S-3 型カメラ】

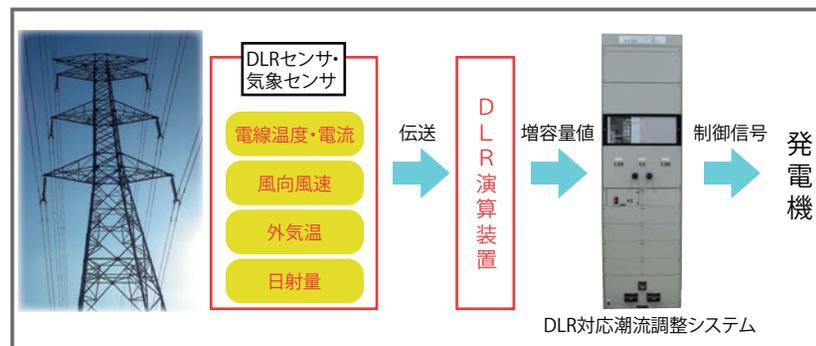
電所側へ出力制御を行うものです。

開発にあたり、ご協力いただいた北海道電力ネットワーク株式会社様、ならびに住友電気工業株式会社様には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

## 取り組み紹介 &gt;&gt;&gt; DLR システムの開発

北海道電力ネットワーク株式会社様と住友電気工業株式会社様が共同で稚内エリアにて、再生可能エネルギーのさらなる拡大に向けて架空線 DLR システムに関する実証試験を行っております。DLR とは、ダイナミック・ライン・レーティングの略で、架空線に流せる電気の量に影響する送電線温度と気象条件をリアルタイムで測定、動的計算するものです。

弊社は、その DLR システムに適応する潮流調整システムを納入させていただいており、住友電気工業株



【ダイナミック・ライン・レーティングシステム 構成概略図】

式会社様が納入する DLR 演算装置から演算結果を受け取り、再エネ連系設備の送電可能量を一時的に増加可能とする取り組みであります。

DLR 演算装置は送電線鉄塔に設置された DLR センサ（送電線温度・電流）および気象センサ（風向風速・気温・日射）にて測定されたデータから送電許容電流が演算されます。この演算結果を弊社装置が増容量値として受け取り、動的に整定値を変更しながら、既設送電設備の潮流を常時監視し、設備容量を超過しないよう発

## 奮闘記 大通変電所 試験業務より

大通変電所において、昨年1月より試験業務を開始し5月に運用が始まりました。試験業務では再設ということで、始めは運用中の機器がない状態でしたが、切替作業が進むにつれて運用になった機器の誤操作がないよう気を引き締め進めてまいりました。

また、光パイロットワイヤ盤の試験は初めての経験でしたので先輩の指示に従い疑問に感じたことは都度確認し、試験を実施しました。特に対向試験では、相手端にいる試験員

との連絡の取り方や操作のタイミング、わかりやすい状況報告の仕方について学びました。最後に、試験業務の間、関係各社様にはご指導を賜り、無事に業務を終えられたことに心より感謝いたします。



電力技術部 電力技術課 桜澤 柗野

## 盛況御礼

## 日本睡眠学会・日本時間生物学会合同大会に出展

昨年9月15日～17日にパシフィコ横浜ノースで開催された「第45回日本睡眠学会・第30回日本時間生物学会合同大会」にて、弊社はウェアラブル型「高照度光照射装置ルーチェグラス」を参考出展いたしました。350名を超える全国の医療関係者や大学関係者の皆様が、ルーチェグラスに高い関心をお寄せになり弊社ブースへ続々と来訪されました。生活のリズムが気になる方や毎日さわやかに朝を迎えたい方のための装置である本製品の光の波長や色温度、照度の特長にご注目いただき、開発経緯から購入方法に至るまで、本製品についての質問を多数いただきました。

今回の出展では医療関係者の方々

から製品仕様に高評価を賜りましたことに感謝するとともに、ご来場いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。

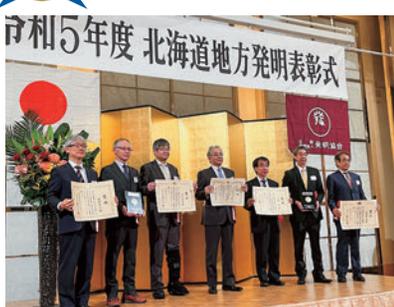


【高照度光照射装置 ルーチェグラス】

## 編集後記

昨年は製品開発や展示会、受賞など様々な出来事がありました。本年もどうぞよろしく願いいたします。〈広報担当〉

## 受賞報告 令和5年度北海道地方発明表彰にて受賞



【受賞の様子】

昨年10月の令和5年度北海道地方発明表彰式にて、産学官で発明した電気式人工喉頭 ユアトーン（特許第4940408号）が文部科学大臣賞を受賞いたしました。弊社からは発明者として須貝専務取締役が表彰され、また発明実施企業として田上代表取締役が実施功績賞を受賞いたしました。